

認定NPO法人ゆいの会35周年記念

住み慣れた地域で 住み続けるケアを考える

参加費無料

定員100名

[日 時] ▶▶ **9月19日(土)** 13:30~16:30

[会 場] ▶▶ 知多市勤労文化会館 研修室1

(知多市緑町5-1)

著者から学ぶ

「介護のドラマツルギー」 老いとぼけの世界

[講 師] ▶▶ 村瀬孝生さん(特別養護老人ホーム「よりあいの森」

「宅老所よりあい」「第2宅老所よりあい」総括所長)

▶▶ 安立清史さん(九州大学名誉教授・超高齢社会研究所代表)



私たちは、老いの前でこそ、どくじの「ことば」が大切だ、ということを主張しました。現在の介護が窮地におちいつているのは、まさに介護現場が、言葉を失っているからだ、と考えています。介護職やケアにたずさわる人たちが、自分たちの「ことば」を回復すること、それが大切だ、というのがこの本の主張です。ドラマツルギーとは、まさに老いというつらいドラマに直面して、ドラマを乗り越えるために、自分の言葉を回復する演劇的でもある回路のことだと思っています。

(安立清史さん)

主催: 認定NPO法人ゆいの会 共催: 知多市民をつなぐLinkちた 後援: 知多市

お申し込み
お問い合わせ

TEL

0562-32-5906

MAIL

yuinokai@aroma.ocn.ne.jp

QRコード



「ぼけたら、おしまいだ」という社会から「ぼけても、いいよ」という、高齢者やケアが必要なひとに優しい社会づくりのヒントを学び、地域のこれからを考えます。

講師プロフィール

村瀬 孝生（むらせ・たかお）

特別養護老人ホーム「よりあいの森」「宅老所よりあい」「第2宅老所よりあい」の統括所長。

1964年生まれ。東北福祉大学卒業後、出身地である福岡県飯塚市の特別養護老人ホームに生活指導員として勤務。その後、福岡市にある「第2宅老所よりあい」に入職し、現在に至る。著書に『ぼけと利他』（共著、ミシマ社、2022）、『シンクロと自由』（医学書院、2022）など

安立 清史（あだち・きよし）

1957年生まれ。九州大学名誉教授。「超高齢社会研究所」代表。専門は、福祉社会学、ボランティア・NPO論。著書に、『福祉の起原』（弦書房、2023）、『ボランティアと有償ボランティア』（弦書房、2022）など



村瀬さん(左) 安立さん(右)

《 宅老所よりあい 》

福岡市中央区地行1-15-14

1991年、92歳で一人暮らしをされていた女性が、ぼけを抱えたことで社会から孤立し、行き場を失っていました。その方に安心して過ごせる居場所をつくりたい。そんな思いから「宅老所よりあい」は始まりました。

高齢者が自分らしく過ごせる小さな居場所。家庭的な雰囲気の中で、日々の暮らしを支えながら、その人のペースを大切にしながら温かいケアを続けています。看取りまで寄り添う実践で全国から注目されています。

※宅老所とは

行政の認可を必要としない、小規模な居場所。介護保険制度が始まる前から生活支援と見守りを行ってきた高齢者のための居場所。

<お申込み・お問い合わせ>

Tel:0562-32-5906 Fax:0562-32-5984 Mail:yuinokai@aroma.ocn.ne.jp

築100年の古民家、欄間や建具に囲まれた空間



制度に合わせるのではなく、人の暮らしに合わせる場

家族の負担や病院後の不安を支える

地域の人とのつながりを取り戻す拠点



氏 名		連絡先	☎
所 属			Mail